

## パソコンリンクソフトから印刷する

付属のパソコンリンクソフト「DISC TITLE PRINTER アプリケーション ver.3.01(以下、「PCアプリケーション」と呼びます)」を使うと、パソコンで作成したデータを本機で印刷することができます。

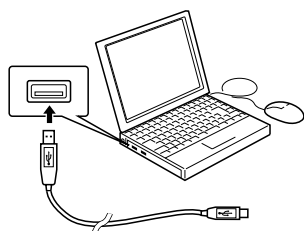
**重要** ・パソコンから印刷するには、PCアプリケーションのほかに、同梱のUSBケーブルが必要です。

**1** PCアプリケーションをパソコンにインストールします。  
PCアプリケーションのインストール方法および操作については、PCアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

**2** 本機に乾電池をセット、または別売のACアダプターを接続します。  
詳しくは17ページをご覧ください。

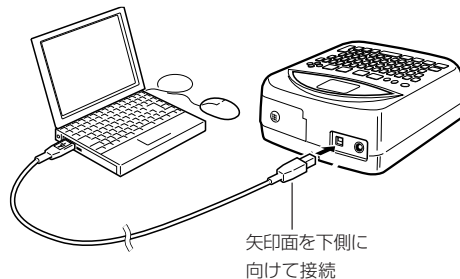
**3** **OFF**を押して、本機の電源を切ります。

**4** パソコンのUSBポートに、同梱のUSBケーブルを接続します。



**重要** ・必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。パソコン本体以外のUSBポートでは正常に動作しない場合があります。  
・はじめてお使いになるときは本機のUSBコネクタを覆っているシールをはがしてから接続してください。

**5** 本機のUSBコネクタにUSBケーブルを接続します。



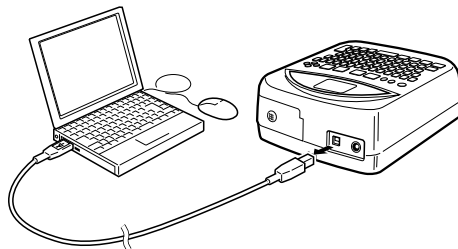
**6** **ON**を押して、本機の電源を入れます。

### ■パソコン側の操作

**7** PCアプリケーションの取扱説明書「おためし印刷編」をご覧ください。ただし、レーベルを作成・印刷してください。

**重要** ・PCアプリケーションをご使用になるときは、ディスクトレイを開く前や印刷の前に、本機の **[USBリンク]** を押して本機の画面に「通信準備完了」を表示させてください。

**9** 本機のUSBコネクタからUSBケーブルを外します。



**重要** ・USBケーブルはデータ転送のためのものです。USBケーブルを接続しても、乾電池、または別売のACアダプターから本体への電源供給は必要です。  
・別売のACアダプターを使用した場合、パソコン接続時はオートパワーオフを行いません。パソコン接続時は別売のACアダプターのご使用をお勧めします。

PCアプリケーションをインストールした後、はじめてパソコンと本機を接続すると、USBドライバをインストールするウィザードがパソコンの画面に表示されます。画面の指示にしたがって、インストールしてください。(2回目以降の接続では、ウィザードは表示されません。)

- Windows XPをご使用の場合には、途中で「このハードウェアを使用するためにインストールしているソフトウェアは、Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されます。[続行(C)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。
- Windows 2000をご使用の場合には、上の画面と同様に「デジタル署名が見つかりませんでした」という警告メッセージが表示される場合があります。この場合は、[はい(Y)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。
- Windows 98/98SE/Meをお使いの場合には、警告メッセージは表示されません。そのまま本機をお使いになれます。

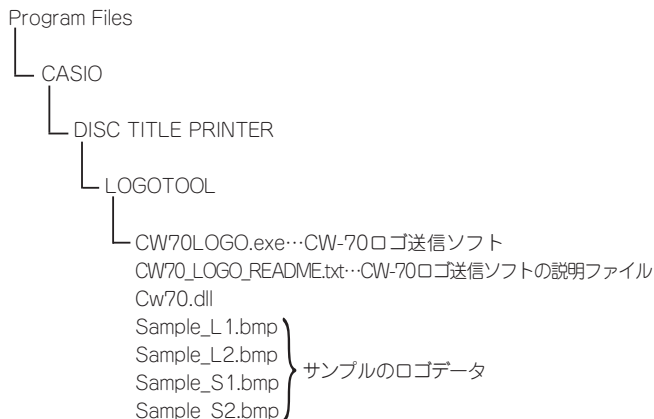
**8** 印刷が終了したら、**OFF**を押して本機の電源を切ります。

## 画像やイラストデータをパソコンから取り込む

パソコンで作成した画像やイラストデータを本機に取り込んで、ロゴデータとして使用することができます。  
取り込むことができるのは、LONGタイプ2種類、SHORTタイプ2種類の計4種類です。

- CW-70ロゴ送信ソフト「CW70LOGO.exe」は、PCアプリケーションをパソコンにインストールすると、自動的にインストールされます。
- パソコンから画像やイラストデータを取り込むには、「CW70LOGO.exe」のほかにも、同梱のUSBケーブルが必要です。
- 「CW70LOGO.exe」の操作については、「CW70\_LOGO\_README.txt」をご覧ください。

### インストール後のフォルダ構成



## 画像やイラストデータを取り込む

### ■パソコン側の操作

- 1 [スタート]ボタンをクリックして「ファイル名を指定して実行(R)…」を選択し、表示されるダイアログボックスで「参照(B)…」をクリックし、上記のLOGOTOOLフォルダを指定します。
- 2 CW70LOGO.exeを選択し、ダイアログボックスで[OK]をクリックします。  
CW-70ロゴ送信ソフトが起動します。  
• パソコンのOSの設定によっては、上記の操作と異なることがあります。OSの取扱説明書、ヘルプなどをご覧ください。
- 3 LOGOTOOLフォルダ内の「CW70\_LOGO\_README.txt」を参考に、本機に取り込むロゴデータを準備します。  
• 本機に取り込む画像やイラストは、モノクロカラーのBMP形式で作成してください。  
• LONGタイプ(ユーザー1(L)、ユーザー2(L))に取り込むことができるデータは縦128ドット固定、幅は576ドットまでです。  
• SHORTタイプ(ユーザー3(S)、ユーザー4(S))に取り込むことができるデータは、縦128ドット固定、幅は288ドットまでです。
- 4 「CW70\_LOGO\_README.txt」を参考に、送信データを転送先エリア(ユーザー1(L)、ユーザー2(L)、ユーザー3(S)、ユーザー4(S))ごとに指定します。

### ■本機側の操作

- 5 **OFF**を押して、本機の電源を切ります
  - 6 同梱のUSBケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。  
• 接続の詳細は、「パソコンリンクソフトから印刷する」(70ページ)をご覧ください。
  - 7 **ON**を押して、本機の電源を入れます。
  - 8 **USBリンク**を押します  
「通信準備完了」と画面に表示されます。
- ### ■パソコン側の操作
- 9 **送信**をクリックして、データを送信します。
- ### ■本機側の操作
- 10 データの受信が正常に終了したら、**OFF**を押して本機の電源を切ります。

### 11 本機のUSBコネクタからUSBケーブルを外します。

**重要** USBケーブルはデータ転送のためのものです。USBケーブルを接続しても、乾電池、または別売のACアダプターから本体への電源供給は必要です。

取り込んだ画像やイラストは、パソコンを使わずロゴデータとして使うことができます。  
詳しくは「ロゴ付きのレーベルを印刷する」(52ページ)を参照してください。

PCアプリケーションをインストールした後、はじめてパソコンと本機を接続すると、USBドライバをインストールするウィザードがパソコンの画面に表示されます。画面の指示にしたがって、インストールしてください。(2回目以降の接続では、ウィザードは表示されません。)

- Windows XPをご使用の場合には、途中で「このハードウェアを使用するためにインストールしているソフトウェアは、Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されます。[続行(C)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。
- Windows 2000をお使いの場合には、上の画面と同様に「デジタル署名が見つかりませんでした」という警告メッセージが表示される場合があります。この場合は、[[はい(Y)]をクリックし、そのままインストールを続けてください。
- Windows 98/98SE/Meをお使いの場合には、警告メッセージは表示されません。そのまま本機をお使いになれます。

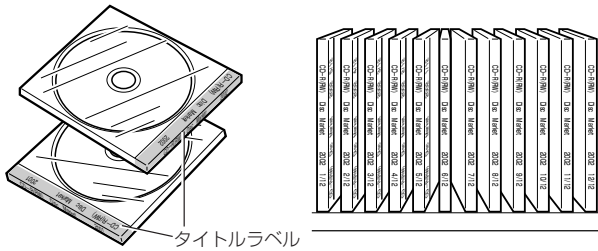
# ディスクケースのタイトルラベルを作る

ディスクの整理に便利なタイトルラベルを作ることができます。

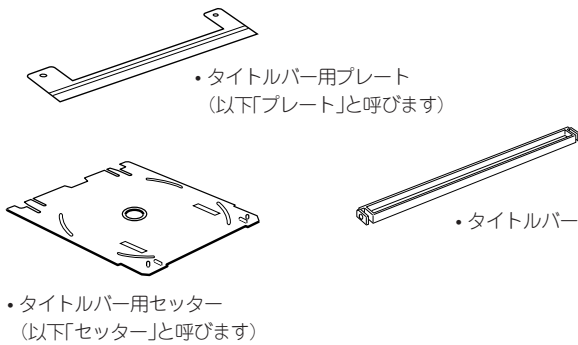
ディスクのタイトルや種類・連番などをタイトルバー用プレートに印刷して、タイトルラベルを作ります。ディスクケースに取り付けて、ディスクの整理にお役立ていただけます。

ディスクケースのタイトルラベルを作る

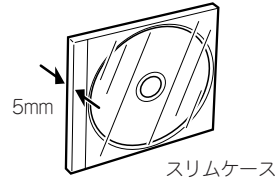
便利な機能編



タイトルラベルを印刷し、ディスクケースに取り付けるには、次のものが必要です。



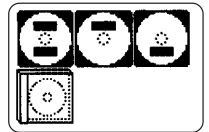
- 重要**
- プレートは一度曲げてしまうと印刷できなくなることがあります。印刷する前に折り曲げないようにご注意ください。
  - タイトルバーはDISC TITLE PRINTER/CD-R TITLE PRINTERの推奨メディアのスリムケース(5mm幅)にご使用いただけます。(ただし、FUJIFILM製を除く)平成14年9月現在詳しくは下記のURLをご参照ください。  
[http://www.casio.co.jp/EZ-USB/product/cd-r/title\\_bar/](http://www.casio.co.jp/EZ-USB/product/cd-r/title_bar/)



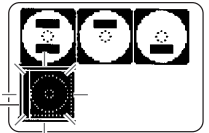
## タイトルレーベルを作る

1 **ON** を押し、本機の電源を入れます。

2 **△▽** を押しして**新規作成**にし、**実行** を押しします。

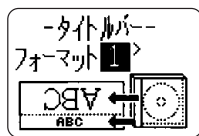


3 **△▽◁▷** を押しして、**□** を選びます。

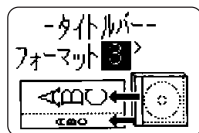


タイトルラベルを作るときは、この印刷パターンを選びます

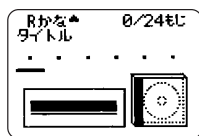
4 **実行** を押しします。



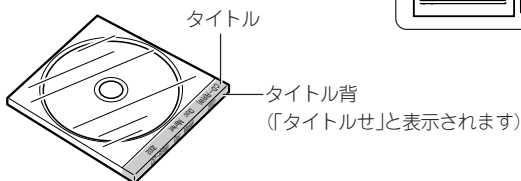
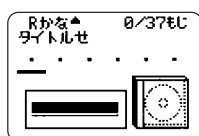
5 **◁▷** を押しして、フォーマットを選びます。  
詳しくは「タイトルラベルフォーマット一覧」(94ページ)をご覧ください。



6 **実行** を押しします。

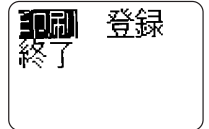


7 「タイトル」(ディスクケースの表面に出ている部分の文字)を入力・確定し、**実行** を押しします。



• 文字の入れかたについては「文字入力編」(31ページ)をご覧ください。

8 「タイトル背」(ディスクケースの背面の文字)を入力・確定し、**実行** を押しします。



• 「タイトル背」は微小フォントのため、フォントの指定は無効となります。

9 **実行** を押しします。

- トレイ設定が「自動で開ける」になっている場合は、自動的にトレイが開きます。「手で開ける」になっている場合は、**△** を押ししてトレイを開けてください。
- ディスクトレイが少し飛び出しますので、ゆっくり引き出してください。
- ディスクトレイの開きかたは、23ページをご覧ください。



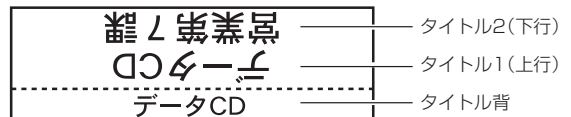
### いろいろな文字にしたい

文字の入力中に、必要に応じて次の修飾をすることができます。

- 書体(フォント)を変える(57ページ)
- 文字を目立たせる(文字体)(59ページ)
- 文字の配置を変える(55ページ)

### タイトルが横書き2行のときは

横書きでタイトル1、タイトル2のあるフォーマット(フォーマット4/5)では、次のようなレーベルが作成できます。



タイトル2(下行)→タイトル1(上行)→タイトル背の順に文字を入力します。

ディスクケースのタイトルラベルを作る

便利な機能編

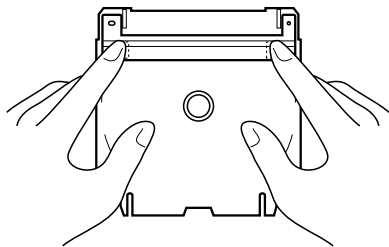
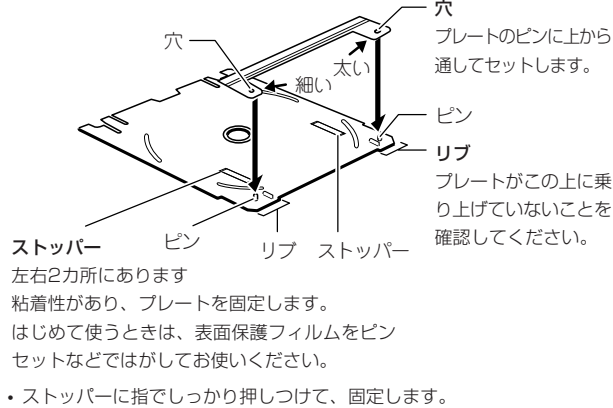
## プレートに印刷する

**重要** 印刷前に、次のことを確認してください。

- 本機に乾電池が正しくセットされていますか？または本機とご家庭用のコンセントが確実に接続されていますか？(17ページ)
- インクリボンカセットがセットされていますか？(22ページ)

### 10 付属のセッターにプレートをセットします。

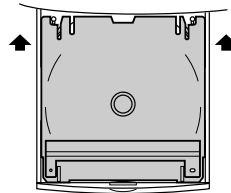
- プレートのツメ部分は平らにしてセットしてください。



- プレートの左右の向きに注意して、上図のようにセットしてください。
- セッターやプレートに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、印刷面に傷がついてタイトルの印刷ができなくなることがあります。
- ストッパーの粘着が弱くなってきたときは、濡れたタオルで軽く拭いてください。  
粘着力が回復します。

### 11 セッターをディスクトレイにセットします。

セッターがぐらつかない位置まで矢印の方向にはめ込んでください



### 12 ディスクトレイを閉めます。

- カチッと音がするまで押し込んでください。

### 13 **実行**を押します。

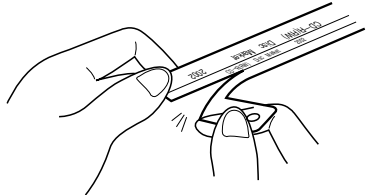
印刷が始まります。

印刷が終了したら、手順8の画面に戻ります。

- タイトルバーデータは、レーベルデータと同じように名前をつけて保存したり、呼び出して修正や印刷をすることができます。詳しくは64ページをご覧ください。

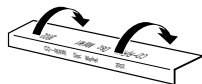
### 14 ディスクトレイを開き、セッターを取り出し、プレートをセッターから外します。

### 15 図のように、プレートのツメ部分を点線に沿って切り離します。



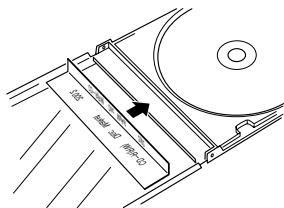
**重要** 切れにくいときは、点線に沿ってハサミ等で切り離してください。無理に手で切ろうとすると、プレートがちぎれたり歪んだりするおそれがあります。

### 16 点線に沿って、印刷面が外側になるようにプレートを折ります。



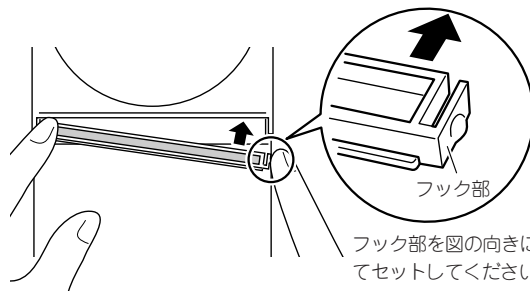
**重要** プレートの印刷面を指などでこすらないでください。文字や画像がかすれたりはがれたりするおそれがあります。

### 17 ディスクケースを開き、矢印の方向にプレートをセットします。



### 18 プレートの上から矢印の向きにタイトルバーをはめ込みます。

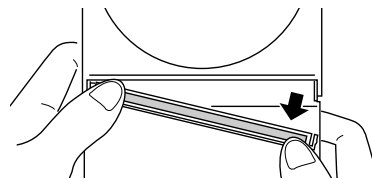
- 平らな面がプレートに接するようにセットしてください



**重要** • タイトルバーは、ディスクケースの厚さが5mmのスリムケースに使用することができますが、ディスクケースの種類により、タイトルバーをセットできないものもあります。

#### ■タイトルバーの外しかた

タイトルバーは矢印の向きに指で引いて外します。



**重要** 無理な力を加えると、タイトルバーやディスクケースが破損する恐れがありますのでご注意ください。

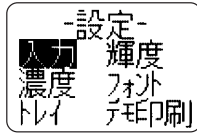
ご使用後は、セッターはタイトルバー収納ケースに入れて保管してください。

# 設定を変える

文字の入れかたや画面の明るさなど本機の基本的な設定を、使いやすいように変更することができます。

## 設定できる項目

電源を入れて最初に<sup>設定</sup>機能<sup>7</sup>と押し、右の画面が表示されます。



△▽⊙⊙で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

- ここでは、電源を入れて最初に<sup>設定</sup>機能<sup>7</sup>と押したとき表示される画面をもとに説明しています。
- その他の場合では、<sup>設定</sup>機能<sup>7</sup>と押した場合に、一部の項目が画面に表示されないことがあります。設定を変更するときは、電源を入れて最初に行ってください。

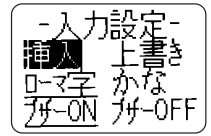
設定項目	内容	ページ	
入力設定	挿入/上書き	文字の入力方法を定める	78
	ローマ字入力/かな入力	日本語の入力方法を定める	79
	ブザー音 ON/OFF	ブザー音を鳴らす/鳴らさないを決める	79
輝度調整	画面の濃淡を調整する	80	
濃度調整	印刷の濃さを調整する	80	
フォント初期値	入力文字の最初の書体を定める	81	
トレイ設定	ディスクトレイの開閉を自動にするか手動にするかを決める	82	
デモ印刷	どんなレーベルを作れるのかを見る	83	

## 挿入/上書きを切り換えたい

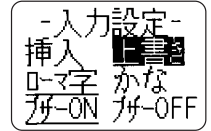
- 挿入状態・・・文字と文字の間に新しい文字を追加して入力することができます。
- 上書き状態・・・画面に表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。  
※詳しくは44ページの「間違った文字をなおす」をご覧ください。

1 <sup>設定</sup>機能<sup>7</sup>と押しします。

2 入力になっていることを確認し、<sup>実行</sup>を押します。

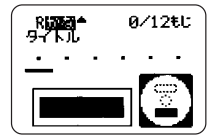


3 △▽⊙⊙を押して、**上書き**(または**挿入**)にします。



4 <sup>実行</sup>を押します。

- 上書きにしたときは、左上の「かな」が反転します



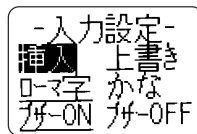
文章入力中に挿入/上書きを切り換えるときは、<sup>シフト</sup>機能<sup>あ</sup>と押しします。

## ローマ字入力/かな入力を切り換えたい

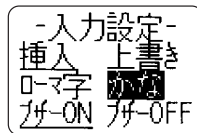
購入後はじめて使うときやメモリーの初期化をしたあとでは、「ローマ字入力」で文字を入れられるように設定されています。(ローマ字入力とかな入力について→33ページ)

1 <sup>設定</sup>機能<sup>7</sup>と押しします。

2 入力になっていることを確認し、<sup>実行</sup>を押します。

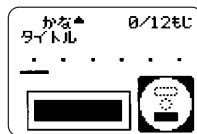


3 △▽⊙⊙を押して、**かな**(または**ローマ字**)にします。



4 <sup>実行</sup>を押します。

- かな入力にしたときは、左上の「Rかな」「かな」になります



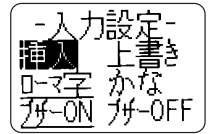
文章入力中にローマ字入力/かな入力を切り換えるときは、<sup>機能</sup>機能<sup>あ</sup>と押しします。  
ローマ字/かな

## ブザー音を消したい

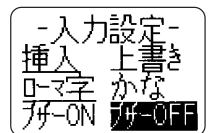
電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 <sup>設定</sup>機能<sup>7</sup>と押しします。

2 入力になっていることを確認し、<sup>実行</sup>を押します。



3 △▽⊙⊙を押して、**ブザーOFF**にします。



4 <sup>実行</sup>を押します。

- ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザーON**にします。



## 画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ(コントラスト)を調整することができます。

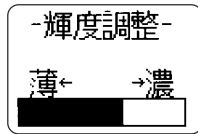
1 と押します。



2 を押して「輝度」にします。

3 を押します。

4 を押して明るさを調整します。  
 を押すごとに薄く、 を押すごとに濃くなります。



5 を押します。

## 印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 と押します。



2 を押して「印刷濃度」にします。

3 を押します。

4 を押して濃さを設定します。  
**1** にすると1番薄く印刷され、**5** にすると1番濃く印刷されます。



5 を押します。

## 書体を変えたい

入力文字の書体を、和文2書体・欧文6書体の中から選ぶことができます。

### 和文書体

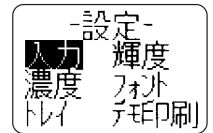
明朝体	ゴシック体
亜あ	亜あ

### 欧文書体

明朝体	ゴシック体
AB12	AB12
ステンシル	ポップ
AB12	AB12
ボールドスク립ト	ブラックレター
AB12	AB12

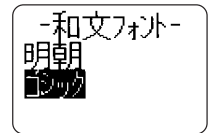
【例】 和文をゴシック体に、欧文をポップ体にする

1 と押します。



2 を押して「フォント」にし、  
 を押します。

3 を押して、和文フォントを選びます。



4 を押します。  
 欧文フォントが設定できる画面になります。



5 を押して、欧文フォントを選びます。



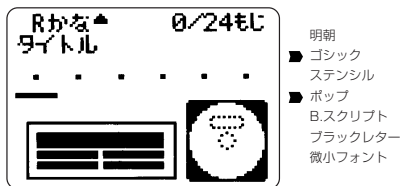
・ を押すと、和文フォントを選べる画面に戻ります。

6 [実行] を押します。

7 [OFF] を押して一度電源を切り、再び [ON] を押して電源を入れます。

・ または、文削除(43ページ)をします。

8 文字入力画面を表示させます。



画面右の「ゴシック」と「ポップ」に黒がつきます

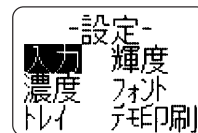
文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

- 「登録データ」や「前回作成データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。
- 作成中のレーベル内で書体を変えたいとき、また一行単位で書体を変えたいときは[機能] [F6] と押して書体を指定することができます。(57ページ)
- 文字単位で書体を変えることはできません。

### ディストレイの開けかたを変えたい

印刷用のディスクを出し入れするとき、印刷開始前に本機のディストレイを自動で開けるか手動で開けるか設定することができます。

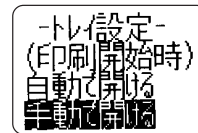
1 [機能] [F7] と押します。



2 [上] [下] [左] [右] を押して「トレイ」にします。

3 [実行] を押します。

4 [上] [下] を押して、「手動で開ける」(または「自動で開ける」)に設定します。



5 [実行] を押します。

・ 印刷終了後は、トレイ設定に関係なく自動的にディストレイは開きます。

### サンプルレーベルを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなレーベルが作れるかを見ることができます。

**重要** デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷を行ってください(データの登録→64ページ)

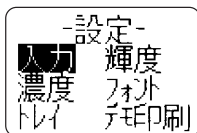
1 インクリボンがセットされていることを確認します。

・ インクリボンについて→22ページ

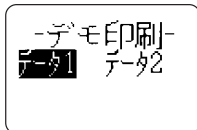
2 電源が入っているときは [OFF] を押して電源を切ります。

3 [ON] を押して電源を入れます。

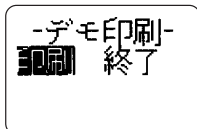
4 [機能] [F7] と押します。



5 [上] [下] [左] [右] を押して「デモ印刷」にし、[実行] を押します。



6 [左] [右] を押してデモ印刷するデータを選び、[実行] を押します。



7 印刷になっていることを確認して、[実行] を押します。



8 [実行] を押して、印刷するディスクをディストレイにセットします。

・ 「設定」の「トレイ設定」で、「手動で開ける」が選択されているときは、トレイは自動的に開きません。「自動で開ける」を選ぶか、本体上部の [上] を押してください。(16ページ)

9 [実行] を押します。

印刷が始まります。

⋮

印刷が終了すると、ディストレイが少し飛び出します。ディストレイをゆっくりと引き出し、ディスクを取り出してください。

・ 内蔵のサンプルデータはデータ1、データ2とも2カ所にレーベルが印刷されます。詳しくは、「印刷位置が上下2カ所のレーベルを印刷する」(67ページ)をご覧ください。

10 印刷が終了したら、[左] [右] を押して「終了」にし [実行] を押します。「終了しますか?」と表示されます。

11 [実行] を押します。